

アイケアカンパニー宣言!



2015年9月24日

報道関係各位

株式会社メガネスーパー
JASDAQ・コード 3318

アイケアカンパニーのメガネスーパー、 ビジョントレーニングの研究開発をスタート!

～アイケアサービスの商品・サービス拡充として

「視覚」に着目したソリューションの研究開発に着手～

株式会社メガネスーパー（本社：神奈川県小田原市、代表取締役社長：星崎尚彦、以下メガネスーパー）は、アイケアサービス・商品の拡充の一環として、2015年10月からビジョントレーニングに関する研究開発を進めてまいります。2015年10月6日（火）～8日（木）まで東京ビッグサイトにて開催される、国際メガネ展 IOFTのメガネスーパー出展ブースにおける、大型タッチパネル入力装置を活用した体験ブースの設置を皮切りに、ビジョントレーニング領域の専門家と連携したエビデンスの構築やソリューション展開を図ってまいります。

メガネスーパーは、2014年6月、眼の健康寿命を延ばすための解決策を提供する企業として「アイケアカンパニー宣言」を掲げ、アイケアに注力した商品・サービス展開とその拡充を図ってきました。また、その一環として、2014年10月には研究開発を目的とした「アイケア研究所」を立ち上げ、他業種の企業・団体や各分野の専門家と連携しながら「眼の領域」における革新的サービスや商品の開発を推進しています。

アイケア研究所の主たる活動として開催している「眼から元気にプロジェクト」では、次なるマイルストーンとして「快適さ」と「眼のQOL(Quality of Life)」を重要なキーワードと設定し、以下の取り組みを展開していきます。

- ①「生活者セグメント固有のコンテンツ開発」
- ②「直接的・インタラクティブなコミュニケーション促進」
- ③「個の課題に応じた具体的なソリューション効果測定」
- ④「国・企業内の“公け”の制度化」

メガネスーパーでは、「眼のQOL(Quality of Life)」、そして経済産業省や厚生労働省が提唱している「健康寿命の延伸」といった観点からは、「視力」に加えて「視覚」に着目していく必要があると考えております。視覚とは、視力の他、両眼視、深視力、色覚、調節力などの入力機能と、脳の中で視覚情報を認知・記憶・イメージする処理機能の2つを総合した機能で、視力より広い意味を含んでいます。



ビジョントレーニングは、視覚における入力機能と認知機能を高めるためのトレーニングで、既に先行した取り組み事例もあるものの、アイケアカンパニーとして全国に300以上の店舗網を持つメガネスーパーがこの領域に取り組むことは、生活者にその重要性を身近に感じ、生活に取り入れて頂く上で有用であると考えています。

今後、スポーツ需要の高まりや、健康寿命の延伸が求められる社会事情を背景に、「学校（中学・高校・専門学校・大学）などのスポーツ関係団体」「子供向けスポーツ教室、幼稚園・保育園などキッズを対象とした団体」「介護施設、自治体などシニアを対象とした団体」「運輸関係（バス、タクシー）他、業務上特に視覚が重要な企業」などが対象になると想定しております。メガネスーパーでは眼の重要性を訴求するセミナーを実施し、その過程で需要が見込まれた団体に、本件関連機材やプログラムの販売・提供を行って行きます。本取り組みはアイケアカンパニーとしてのメガネスーパーの認知向上だけでなく、ビジョントレーニングを行う上では、ある程度の視力が必要であるため、既存事業に対しても営業収益が見込めると捉えております。

■メガネスーパーが取り組むビジョントレーニングの特長

- ・大型タッチパネル入力装置×ITソフトウェアを組み合わせたソリューション
従来型のハード機器による展開に対し、大型タッチパネル入力装置とソフトウェアの組み合わせにより、導入のし易さとより効果の高いプログラムを提供
- ・常に最新の訓練方法や専門家のアドバイスを取り入れ、プログラムを都度更新し、最新最良のプログラムを展開
- ・単発的なプログラム提供による「慣れ」や「飽き」を防止し、更なるトレーニング効果の向上